

平成 30 年度第 1 回奈良市プロポーザル方式採否審査会会議録			
開催日時	平成 30 年 4 月 25 日（水）午前 9 時 0 0 分から午前 1 0 時 0 0 分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5 階 キャンベラの間		
出席者	委員長	向井副市長	
	委員	津山副市長 萬谷法令遵守監察監 中西会計契約部長 川尻市民生活部長 奥田環境部長 梅森観光経済部長 岡本都市整備部長 杉野建設部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐、契約課契約係長	
開催形態	公開（傍聴人 2 人）	担当課	保育所・幼稚園課、地域教育課
議題 又は 案件	1 奈良市子ども・子育て支援業務システム（保育・学童）更新事業		
決定又は 取り纏め 事項	1 採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
担当課	<p>今回、事業名が奈良市子ども・子育て支援業務システム更新事業を考えております。事業目的は、システムの改修を行い、システムの運用・保守等の課内の業務の効率化、児童手当からの保育料の徴収等の徴収の強化、給食費・延長保育料等の実費の直接徴収による保護者の利便性の向上及び公立施設での事務負担軽減等としております。事業内容は、作業計画・データ移行・ハードウェア及びソフトウェアの提供とそれに付随する設定等の作業等、運用の始まった以降の保守サポートが事業範囲となっております。履行期間は平成 35 年 11 月 30 日までの 5 年間の契約となっております。予算は、平成 30 年度は、保育所・幼稚園課と地域教育課併せまして、1,270 万円です。また、プロポーザル方式を採用する理由は子ども・子育て支援新制度が毎年制度改正され、制度が複雑になり、業務の効率化が喫緊の課題となっております。また、現在のベンダーが、毎年の制度改正に迅速な対応ができていないため、事業者選定にあたり対応の迅速性と、従来の業務の見直し・効率化の提案をしてもらいたいと思っています。そのため価格のみによる競争入札ではなく、企画内容も含めた総合的な提案をいただくことのできるプロポーザル方式を採用したいと考えています。スケジュールについては第 1 回のプロポーザルの審査委員会を 5 月上旬に行いまして、6 月の下旬に第 2 回プロポーザル審査委員会、プレゼン及びヒアリングを行い、事業者の決定、7 月 1 日に事業の開始を予定しております。</p>		
委員	更新事業ということは、今システムがあるのですか。		
担当課	今、両課ともシステムを導入しております。		

委員 更新というのは既存のシステムを改めるのですか。資料の中を見ると、保育料の徴収強化とか、児童手当からの徴収をするシステムを付加するのですか。

担当課 今現在、その機能は全くありません。

委員長 新たに増やす業務というのは何ですか。

担当課 新規で増やす業務は、児童手当からの保育料の徴収、実費の現金で徴収です。

委員 実費の徴収をシステムに入れるということは公金にするということですか。

担当課 公金化です。

委員長 そのようにしたら、現金を扱うのはなくなりますか。

担当課 はい。

委員 システム改修と、公金化とは話が別ですよ。現場作業を簡易にするという発想はよいと思います。ただ、予算化に伴う条例改正等の課題等が全部整理されて、必要な事務処理を含めたものが全部検討されていますか。これはプロポーザルの議論になりますが、ベースがありそこに新規が載るものと、ベースのものもより迅速化・効率化するための改修を求めるわけですか。

担当課 現システムは国の制度改正がある度に修正を加えてきた結果、つぎはぎ状態になっています。それで子ども子育て支援新制度が始まり、制度が複雑化をしてシステム自体が対応できていないのが現状です。保育料の改正について、4月からスタートに改修が間に合わないので、職員が手作業でデータを見たこともあります。そこで今回、プロポーザルを行い、再度業務の効率化、見直しをして、更にもうこういった形で効率化できる部分を提案いただいて、よりいい方向に業務が進むような形でやっていきたいと思っています。

委員長 全国的な制度の部分も多いと思いますが、このスケジュールによると7月1日スタートなので業者が今持っているシステムと対応能力を見比べるといってすね。プロポーザルではこちらの要求を正確に対応していける業者かどうかをみると。ただ、こちらから要求や提案して欲しい内容とはどんなものですか。

担当課 当課が強く求めることは、サポート体制です。制度改正への迅速かつ柔軟な対応を一番求めたいと思っています。

委員 それは、毎年の改正への柔軟な対応力を意味しているのですか。

担当課 はい。

委員 この1270万円はどこまで含まれた予算なのですか。

担当課 初年度の経費ということで、データの移行の部分・機器のリース料等です。

委員 初年度分の予算しか見ていない。

委員 4ヶ月くらいのリースの分の金を含んであと50何ヶ月は、来年予算を組んで再契約する。それは、始めに、暗に約束みたいな契約をするのですか。

委員 相手方に入札するときはそのリスクを伝えなくてはならないですよ。

委員長 今回の業務についての契約等の問題点をきっちり整理してください。このシステムの更新事業の業者選定においてプロポーザル方式を採用するか否かを決める場ですので、議論を戻しますと、結局、迅速に対応するとか、それは当たり前の話で、業者が間に合わせることが出来ないなら、職員でやってしまうというこちら側の姿勢はおかしいと思います。しかし、今回提案してもらうのは、迅速に

こういう対応が可能であるとか、サポート体制をこうしますとか、それからシステムの能力面ではこういうところが改善していますとか、そういうところを比べるということですか。

担当課 それぞれの業者が持つ、もっと効率的なやり方があるならば、それを提案していただき、業務の流れをよりスムーズに無駄のないようなものにしたいと考えています。

委員長 その他何かありましたら。

委員 システムの中身を提案してもらうわけですね。サポート体制は市が仕様書にきちんと書いて、条件を提示すれば済むことなので、基本的にはそちらの方ですね。

委員 履行期間が30年12月からですが、事業開始7月1日とは意味合いはまた違うのですか。

担当課 システムの更新にあたっての準備、設計、打合せ等の部分を含めた、事業開始ということです。そのシステムの導入の基準が始まるのが7月です。実際の本稼働は31年の4月から予定しています

委員 導入的なパッケージを奈良市バージョンのカスタマイズすることが、この期間でいけるというのは大体何かの前例とか事例があるのですか。

担当課 事前に各ベンダーとの調整をしまして、来年4月の稼働に向けて、これくらいの期間であれば大丈夫であろうという期間を設定しております。

委員長 ここまでの話の中で、この事業そのものの課題の整理、公金化の問題、業者の契約のリスクの問題等、そのあたりの整理をした上で、募集ということになると思いますが、この事業そのものの業者選定についてはプロポーザルで提案を求め、求めたいという担当課の意向です。それでプロポーザル方式を採用したいということですが、これについては何かご意見ありますか。

委員 とにかくノウハウをいっぱい知りたいわけですね。市で仕様書を完璧に作成できるノウハウがないみたいなので。そういう意味ではプロポーザルでノウハウを求めるとするのは、審査会では可ということになると思います。逆に、それをどう選ぶかというのが、担当課の力量になってくると思う。丁寧にやらないと、都合のいいところばかり見ていたら結局向こうのいいなりになってしまうので。

委員長 プロポーザルの課題のようところは、プレゼンのうまいところに惑わされないようにしっかり判断していただくということで、この事業についてはプロポーザル方式の採用ということによろしいですか。

委員 はい。

資 料

【資料1】奈良市子ども・子育て支援業務システム（保育・学童）更新事業に係るプロポーザル実施要項